

2025-26年度 第2650地区スローガン  
「未来へつなぐ」

第2650地区 [1961.3.28創立]

**YAMATOTAKADA ROTARY CLUB**

会 長	山 田 博
副 会 長	安 田 志 郎
幹 事	木 原 常 裕
会報・資料委員長	酒 本 良 司

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス [ytrotary@abelia.ocn.ne.jp](mailto:ytrotary@abelia.ocn.ne.jp)

地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>

例会日時：毎週火曜日 12時30分 例会場所：経済会館 3階大ホール  
事務所：〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

**第23回(通算3063回)2026年(令和8年)1月27日号**

**本日の例会(1月27日)**

「仮名の書」の魅力について  
大阪樟蔭女子大学  
国文学科教授 八巻敏幸 様

**次回の例会(2月3日)**

令和の米騒動顛末記  
木下庄司 会員

**年次総会報告(クラブ細則第3条第2節(a))**

**次々年度会長 牧浦 徹会員**

・全員に諮ったところ拍手をもって承認された。

**2026~2027年度**

**大和高田ロータリークラブ 役員及び理事**

役 員	
会 長	辻 修
直 前 会 長	山 田 博
会長エレクト	牧 浦 徹
副 会 長	杉 垣 輝 樹
幹 事	藤 井 宏 典
会 計	林 田 光 治
理 事	
池 木 啓 仁	垣 本 喜 己
射 場 祥 行	木 下 庄 司
上 田 麻 子	平 岡 雄 一 郎

**1月13日の例会報告**

**会長の時間**

本日は、大和高田市市長堀内大造様をはじめ、市の関係者の方々にご出席いただき、誠にありがとうございます。我々ロータリークラブは本年、65周年を迎えます。その記念事業として、社会奉仕委員会担当で「大和高田を再び元気に」と銘打ち、高田千本桜を未来につなごうと考えております。毎年、桜の時期にはたくさんの方々が高田川の両岸に咲く桜を見て、大変喜んでおられます。しかし、この辺りの桜は樹齢70年を超え、老木化と外来種のカミキリムシの影響で元気がございません。そこで、大和高田RCでは、もう一度これを蘇らせようと考えました。かつて我がクラブは、創立29年目、1988-89年度、西嶋榮一会長当時に、大中公園にしだれ桜を寄贈したこともございます。この事業を通じて、高田がまた活

気あふれるまちになってほしいと願っております。

本事業に当たりまして、西田社会奉仕委員長はじめ委員会の方々大変お世話になりました。また、財団の補助金に関しましては、吉田暁ロータリー財団委員長に大変お世話になっております。改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

**幹事報告**

◎新入会員カウンセラー及び所属委員会

・吉村 始会員

カウンセラー:高木美香会員

所属委員会:出席委員会及び親睦委員会

◎クラブ長期ビジョン委員会のご案内

1月13日(火)例会終了後

◎休会のご案内

1月20日(火)

◎理事会のご案内

1月27日(火)例会終了後

◎皆様のお手元に「今、市立病院では」という大和高田市の広報誌の1ページをお配りいたしました。下に写っている写真はホスピタルアートで、私ども大和高田RCから寄贈されたものです。

**ゲスト**

堀内大造様(大和高田市 市長)

作田敦嗣様(大和高田市 環境建設部長)

米田真幸様(大和高田市 環境建設部都市計画課長)

藤田祥司様(大和高田市 環境建設部都市計画係長)

**誕生日祝**

一ノ坪英二会員(1月14日)中井隆男会員(1月16日)

白井健雄会員(1月22日)

**結婚記念日祝**

山下精久会員(1月14日)射場祥行会員(1月17日)

西川 均会員(1月26日)

**新入会員紹介**

吉村 始(よしむら はじめ)会員



生年月日 1968年1月1日  
勤務先 金壽堂出版株式会社  
役職 代表取締役  
職業分類 書籍出版  
勤務先住所 葛城市足田236-18  
推薦者 池木啓仁会員  
布施隆教会員

**委員会報告及びその他報告**

◎親睦委員会

田中康正委員長

3月29日(日)の65周年家族例会の出欠を1月27日(火)より取らせていただきます。

◎高田地区情報集会

射場祥行世話人

2月10日(火)18時からヴェルデ辻甚にて高田地区情報集会を行います。

**4つのテスト [言行はこれに照らしてから]**

1. 真実か どうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるか どうか

ニコニコ箱

- 堀内大造大和高田市長をお迎えて。  
山田 博会員
- 堀内市長をお迎えて。アクトで葛城山に登ってきました。  
木原常裕会員
- 堀内市長をお迎えて。誕生日祝を頂いて。  
中井隆男会員
- 堀内大和高田市長をお迎えて。  
甲村侑男会員 吉村定義会員 脇本吉清会員 辻 修会員
- 堀内市長、作田部長、米田課長、藤田係長をお迎えて。  
西田陽昭会員
- 山田会長をはじめ役員の皆様、後半もよろしく願います。堀内市長をお迎えて。  
上田麻子会員
- 吉村 始さんの入会を祝して。  
池木啓仁会員 布施隆教会員
- 本日よりよろしく願います。  
吉村 始会員
- ローターアクトの葛城登山でお世話になりました。  
山本忠行会員
- 誕生日のお祝いを受けて。  
白井健雄会員
- 結婚記念日祝を受けて。  
山下精久会員

クラブフォーラム(社会奉仕委員会) 目録贈呈



ご挨拶 大和高田市長 堀内大造様

本日はこのような席を設けていただき、関係者一同、感激しております。本当にありがとうございます。大和高田RC様には、平素より大和高田市の行政にご協力いただいておりますこと、この場を借りて、心から感謝申し上げます。

大和高田市といえば桜が有名でございます。市制を敷いた昭和23年に桜を植えたため、かれこれ70数年たっており、寿命もだんだん近づいてまいりました。また、害虫による被害もございます。市としても何とか駆除に取り組んでおりますが、なかなか追いつかないというのが実情です。

市の大切な観光資源である桜をどうしようかと悩んでいたときに、今回のありがたいお話を頂戴し、市職員一同感激いたしました。桜と言え、奈良では吉野の桜が有名でしたが、近年、テレビ・雑誌等に取り上げられ、県内・県外からもたくさんの観光客の方がいらしております。今回、ご寄贈いただいた桜の木は、本日卓話をさせていただく米田課長を中心に、しっかりと管理させていただきますので、皆様におかれましては、これからも見守っていただきたいと思います。本日は誠にありがとうございました。

卓話

大和高田市 環境建設部都市計画課長 米田真幸 様



本日は、このような丁寧な贈呈式を執り行っていただき誠にありがとうございました。私からは高田千本桜を守る取組についてお話をさせていただきます。

高田川・大中公園の桜並木は自然に生まれたものではなく、先人たちの手によって植えられ、育てられてきました。昭和初期から戦後にかけて、高田川の付け替えが段階的に実施されてきました。それに伴い、1948年(昭和23年)に市制の施行を記念して植樹が行われました。当時、市民の皆さん方がボランティアとして参加し、戦後の復興期に「まちを明るくしたい」「人の心を癒したい」という思いから、力を合わせて桜を植え、育ててこられました。つまり、高田千本桜は市民の皆さんの手で育てられた桜並木であり、地域の歴史を今に伝える生きた財産であると言えます。

現在、この桜には2つの課題がございます。1つ目は、樹齢です。植樹より80年弱の時が経過し、ソメイヨシノの寿命である70~80年に達しております。また、2つ目の課題として、中国や台湾原産のクビアカツヤカミキリという外来害虫が発生いたしました。この虫の幼虫が桜の幹の中に入り、木を衰弱させ、最悪の場合は枯らせてしまいます。この虫を発見されれば、踏みつぶしていただいたり、殺虫剤などで駆除していただくようお願いいたします。もしくは市民衛生課、都市計画課までご通報ください。平成30年に環境省により特定外来生物として指定されております。生きたままの運搬、飼育、販売などは法律で禁止されています。

令和2年に初めて市内で発見されて以来、令和5年には大中公園周辺で多数発見されました。令和6年度から、防除対策として幹へ薬剤を注入する対策をしております。しかしながら、被害を完全に防ぐことは簡単ではございません。引き続きかなり被害が出ている状況です。

対策を実施した木には一定の効果が出ておりますが、樹齢が70年を経過したものがほとんどですので、対策効果が見込めなかった木もございました。全国的にも桜並木が倒れたという報告が増えておりまして、安全管理の面でも重要性が年々高まってきております。

これらの桜の維持・対策に加えて、新たな桜の木の植え替え作業を実施しております。ソメイヨシノは繊細で病気にかかりやすい品種ですので、色合いが近く、病気などに強い品種である、ジンダイアケボノという桜への植え替えを試験的に開始しております。今回、贈呈頂きました桜の寄附金は、現存する桜の木の状態を確認しながら数年に分け、段階的な植え替えを実施させていただきます。

このたびの桜の贈呈は、市の象徴である桜並木を守る上で、誠に意義深いものであると感謝しております。市としてもさらなる桜の維持管理に努めていくとともに、高田千本桜をまちの魅力を象徴する大切な存在として次の世代へつなげていくため、皆様とともに守っていきたくと考えております。

出席報告	会員 総数	出席 義務 会員数	義務 会員 出席数	義務 会員 欠席数	義務 会員 MU	出席 免除 会員数	免除 会員 出席数	免除 会員 MU	出席率
1月13日	86	56	44	12	2	30	22	0	87.18%
1月6日	85	55	46	9	1	30	26	0	90.12%
12月23日	86	55	50	5	0	31	26	0	93.83%

※食品ロスの削減に努めましょう。(1月6日の弁当残数は4個)